

「get_books_data.html」 使用説明書

2020/06/28

pn675

1 はじめに

インターネットを利用してデータを取得しているのので、必ずインターネットに接続した状態で利用して下さい。

HTML と JavaScript という Web ブラウザで動く言語で作っていて、Google Chrome と Firefox に対応しています(Microsoft Edge は非対応です)。また Mac OS での動作は保証できません。(文字コードなどの点で不具合が出る可能性があります)

2 データの読み込み

2.1 openBD よりデータを取得

openBD(<https://openbd.jp/>)という株式会社カーリルという図書館蔵書検索サイトが運営している API を利用して検索します。書誌情報は版元ドットコム(<https://www.hanmoto.com/>)が提供しているようです。

ISBN 入力欄には複数の書籍の ISBN を改行で区切って入力することが出来ます。また API の仕様により 10 桁と 13 桁のどちらでも対応しています。またある程度の表記揺れ(- (ハイフン)の有無)などにも対応しているようです。

ISBN を入力したら[データ取得]ボタンを押してデータを取得してください。アクセス制限を回避するために取得する間隔をあけています(1 件あたり約 0.3 秒)。大量に取得する場合は時間がかかることがあります。データの取得中は「取得中...」の表示が、全て取得を終了すると「取得終了」の表示が出来ます。また、取得した ISBN を入力欄から消していくので進捗の目安にしてください。

出版年月日が古すぎるものや登録されてない出版社のものなどデータの欠損がある書誌もあるので、その場合は編集欄で追記してください。

[openBD よりデータを取得]と[ローカルデータの読込]共通ですが、**新たに読みこまれたデータは既にあるデータの末尾に追加される**ため、複数回に分けて取得しても大丈夫です。

2.2 ローカルデータの読込

この HTML ファイルを利用して作ったデータがある場合はそのデータを読み込むことが出来ます。

基本的にはこのページから保存したファイルのみを指定してもらいたいです。ISBN, タイトル, 著者, ジャンル(0~9 の半角数字 1 桁), 出版社, 価格(半角数字)の順にタブ(¥t)で区

切り、改行コードは LF(¥n)、文字コードは UTF-8 で保存したテキストデータは利用できる(拡張子は.txt でも.tsv でも良い)、EXCEL などの表計算ソフトでブックログなどからエクスポートしたデータを整形して読み込ませるデータを作成することはできます。

3 データの編集&集計

3.1 データの編集

データの読み込みが終わると、取得・読込されたデータの一覧が表示されます。

[編集]ボタンを押すとその書籍のデータを編集することができます。編集中の書籍の行は背景が青くなります。**編集が終わったら必ず[適用]ボタンを押してください。**

ジャンルの分類には日本図書コードの C コードを利用しています。ほぼ NDC(日本図書分類)と同じですが、若干違うものも存在したので気になる書誌は自分で変更してください。また、価格は本体価格(税抜き)を入力してください。編集の際の補助としてブックログ、紀伊國屋書店、Amazon へのリンクがあるので適宜利用してください。

データを削除する場合は[編集]または[適用]ボタンの横にある[削除]ボタンを押してください。この時「この行のデータを削除しても良いですか?」というポップアップが出るので**削除しても良い場合は[OK]を、削除しない場合は[キャンセル]を押してください。**

データの重複チェック、並び替えには対応していません。

3.2 データの集計

データのジャンル別に冊数と価格(+平均)を集計しているので参考にしてください。データの変更があるたびに自動で更新されます。

4 データの保存

取得・編集したデータはローカルに保存することができます。ページを閉じるとその時点でデータが失われるため、必要な場合は閉じる前に必ずデータを保存してください。

ファイル名は「data[年月日時分].txt」となっています。

出力したデータはテキストエディタで開いてコピーすることで EXCEL などに貼り付けることができます。ファイルの形式は 2.2 の通りです。テキストエディタなどで開く場合は文字コード UTF-8 で開いてください。

5 不具合などについて

もし不具合などがあった場合は報告してもらえると助かりますが、すぐに反映されるわけではありません。